

## 「防災事業 i w e l 代表 防災アドバイザー井村浩之略歴」

昭和41年11月1日 愛媛県歯科医師の4人兄弟の長男として出生  
10歳までは愛媛県南宇和郡城辺町にて育ち、小学5年から同県松山市に引越  
54.4~60.3 愛光学園27期、剣道部・応援団兼務  
62.4~62.9 九州大学農学部中退  
62.9~陸上自衛隊入隊 善通寺~日本原勤務後、防衛大学校入校  
63.4.1~H4.3.21 防大36期陸上要員、土木工学科、ラグビー部  
4.3.22 陸上自衛官任官、久留米の幹部候補生学校に入校  
4.10.1 習志野 第1空挺団普通科群(昔の歩兵) 小隊長・運用訓練幹部  
8.3.23 久留米 幹部候補生学校学生隊付教官 幹部候補生の教官  
10.3.22 帯広 第4普通科連隊 小隊長・連隊本部運用訓練幹部  
14.8.1 名古屋 第10師団司令部第3部訓練班 訓練幹部  
17.8.1 習志野 第1空挺団第2普通科大隊 第4中隊長  
18.4.28から第10次イラク復興支援群本部要員として派遣  
20.3.23 朝霞~座間 中央即応集団司令部人事部 総括班長等勤務  
21.9.28からジブチ派遣海賊対処行動航空隊要員として派遣  
22.8.20からパキスタン国際緊急航空援助隊要員として派遣  
23.3.11から東日本大震災原発対処部隊幕僚として郡山に派遣  
24.2.17から南スーダン派遣施設隊本部幕僚として派遣  
25.8.1 朝霞 研究本部総合研究部教訓センター要員  
25.11.16からフィリピン国際緊急援助隊要員として派遣  
27.4.27からネパール国際緊急援助隊要員として派遣  
28.4.14から熊本地震災害派遣支援要員として派遣  
28.5.27から伊勢志摩サミット支援要員として派遣  
29.3.23 弘前 第39普通科連隊 副連隊長  
日米共同訓練、駐屯地と地域の融和、ブルーインパズ飛来等貢献  
31.3.23 小平 小平学校人事教育部 補任教官室長  
人事課程特技付与に係る人事の教育訓練に従事  
R3.8.1 朝霞 陸上総隊司令部運用部 運用室長  
事態生起時の初動対処関連業務に従事  
R4.8.1 習志野 第1空挺団本部付として後進への資料作成  
R4.11.1 習志野 退官(定年退職)  
多くの失敗とそれをはるかに上回る支援と運に支えられ任務完遂

【実績等】35年余の自衛官勤務間、部隊の運用、教育訓練及び人事に係る業務に従事

- 災害派遣 東日本大震災における原発対処をはじめ、延べ5回137日に亘る勤務
- 海外派遣 イラクをはじめ、延べ6回の本部要員として勤務
- 特色 原発防護やオペレーション部署における勤務
- 特に心がけていたこと  
「初動全力、目の前の状況に応じた行動、自ら考える」
- 愛媛県防災アドバイザー委嘱

## 「防災事業 i w e l (アイウェル) 概要」

### 1 創業の背景と事業の核心

令和4年12月20日防災事業としてi w e l (アイウェル) を起業しました。  
約35年の自衛隊勤務定年退官時、今後も公に奉仕しようと考えたためです。  
その動機は、自らの知見を公に役立てたいという、強い思いです。  
私共「i w e l」は、事態や災害の現場経験を有する一人として、そのノウハウをニーズのある自治体等組織へ提供することにより、人材不足による初動対処の遅れや不具合を軽減し、被害を局限することができると考えました。  
そして、その結果や成果が、将来、公に貢献することになると信じています。

### 2 i w e l の事業理念

「日本から日本へ、安心の暮らしを守ること」が理念です。  
Made in JAPANからJAPANへ。日本人の特性を活かした丁寧な質の高い仕事を行い、その仕事によって、地域に暮らす方々の安心を得ることを方針とします。よって、この事業理念を具体化し、安心して楽しく元気に人と生きていくことを目的としています。  
当方の屋号「i w e l (アイウェル)」のiは事業主である井村の頭文字の「井」を表し、w e lは英語の井戸、即ち「人が集まり、安心して暮らせる場所」という、事業理念のイメージを表現しています。

### 3 i w e l の事業内容

#### (1) 防災・減災事業

- ア 各種防災関連アドバイザーとしての各種活動、特に防災拠点構想の具体化
  - A 防災グッズの最適化
  - B 予行(防災セミナー、防災教育訓練の企画及び支援)
  - C 防災拠点・避難所予定施設の開設
  - D 避難所マニュアル及び受援マニュアルの作成～普及
- イ 防災関連商品販売関連業務：商品・製品への助言や販路拡大等
- ウ 教育訓練支援における細部項目
  - ① 初動対処マニュアル作成支援
  - ② 連絡網作成支援
  - ③ チェックリスト作成支援
  - ④ 防災教育・訓練支援
  - ⑤ 指揮統制部署の連絡調整支援
  - ⑥ 関係部署との調整支援
  - ⑦ 初動対処～避難訓練～避難生活予行訓練支援

#### (2) 地産地消支援事業

#### (3) 共助連携支援事業(自給自足集落支援)

### 4 i w e l 活動概要

- ◇ 愛媛県庁にて防災セミナー実施(5月)、国土交通省へ防災拠点構想上申中
- ◇ 複数県の東京事務所に事業説明(業務宣伝含む。)
- ◇ 災害用水タンク、組立式トイレ及び通信器材に係る各社と業務連携中
- ◇ 防災科学研究所報告会、大学教授講演などに参加し、知識を更新
- ◇ 幼稚園での防災訓練支援、介護施設での聞き取りなど情報収集